

平成 23 年度

生物圏生命科学専攻海洋生物学講座

公開修論発表会講演プログラム

日時：平成 24 年 2 月 15 日

会場：生物資源学部大講義室

13:00～13:05 開会の辞 幹 渉

第一部

海洋生物化学 座長：幹 渉

13:05～13:20 井上亮太

三重県産藻類由来成分の血管機能改善効果

(主査：幹 渉 副査：加納 哲, 柿沼 誠)

13:20～13:35 岸 和希

酵母発現系を利用した紅藻スサビノリ *PyAMT* 遺伝子の機能解析

(主査：幹 渉 副査：柿沼 誠, 船原大輔)

13:35～13:50 村木俊彦

長期的高水温に対する応答・適応反応に係わる

アマノリ属藻類遺伝子の探索

(主査：幹 渉 副査：柿沼 誠, 船原大輔)

13:50～14:05 安田昂平

緑藻不稔性アノアオサ *UpRbcS* 遺伝子を利用した大型藻類の形質転換

(主査：幹 渉 副査：加納 哲, 柿沼 誠)

海洋微生物学 座長：田中礼二

14:10～14:25 鎌田真史

高濃度酸素水を用いた底質改善に関する研究

(主査：前川行幸 副査：幹 渉, 田中礼二)

生体高分子化学 座長：加納 哲

14:30～14:45 中林瑞穂

アコヤ真珠の有機マトリックスタンパク質に関する研究

(主査：加納 哲 副査：船原大輔, 柿沼 誠)

14:45～15:00 長尾知樹

キャッチ筋タンパク質の RNA 干渉法によるノックダウン

(主査：加納 哲 副査：幹 渉, 船原大輔)

15:00～15:15 横谷沙季

キャッチ収縮をみちびくミオシン・アクチン・トウイッチン複合体の

分子形成機構の解明

(主査：加納 哲 副査：船原大輔, 柿沼 誠)

休憩 10分

## 第二部

海洋生態学 座長：谷村 篤

15:25～15:40 高木真裕子

熊野灘における表層から中深層の動物プランクトン生物量と

群集組成の鉛直分布

(主査：谷村 篤 副査：原田泰志, 木村妙子)

生物海洋学 座長：石川 輝

15:45～16:00 武市有未

紀伊半島沿岸域における底生性渦鞭毛藻 *Gambierdiscus* 属の

出現動態に関する研究

(主査：前川行幸 副査：石川 輝, 木村妙子)

海洋個体群動態学 座長：原田泰志

16:05～16:20 寺尾智哉

アマゴにおける様々な漁場管理方策の効果比較

(主査：原田泰志 副査：勝川俊雄, 河村功一)

## 藻類学

座長：前川行幸

16:25～16:40 宮松亜美

海草コアマモ群落の季節消長およびコアマモ場造成技術の開発に関する研究  
(主査：前川行幸 副査：小池 隆, 梅崎輝尚)

16:40～16:55 林 知崇

アマモ種子の発芽及び初期生長過程に伴うエネルギー利用に関する研究  
(主査：前川行幸 副査：小池 隆, 荒木利芳)

16:55～17:10 藤井瑞穂

繁殖方法や発芽水温がアマモ胚軸毛の生長および形態におよぼす影響  
(主査：前川行幸 副査：小池 隆, 梅崎輝尚)

17:10～17:25 水谷俊介

植物生長調節剤によるノリ糸状体の生長と成熟の制御  
(主査：前川行幸 副査：小池 隆, 荒木利芳)

17:25～17:30 講評・閉会の辞 前川行幸

## 注意事項

- ・ 発表形式は、12分講演、3分質疑応答、計15分です。  
時間を厳守してください。
- ・ タイムキーパー1名を発表者の研究分野から出してください。
- ・ 10分に1鈴、12分に2鈴、15分に3鈴、ベルを鳴らします。
- ・ ノートパソコンは、各研究分野で用意してください。
- ・ 液晶プロジェクター、レーザーポインター等は海洋生物化学で準備いたします。